出前講座　区分：砂防　講座名：砂防事業の概要

岩手河川国道事務所
流域治水課

「岩手山の火山を学ぼう」

開催概要

- 開催日時　令和7年9月5日（金）9:30～11:30
- 開催場所　イーハトーブ火山局（八幡平市松尾寄木）
- 参 加 者　滝沢市立一本木小学校　4年生16名、引率2名
- 講座目的　防災教育の一環として

実施内容

今回の出前講座は、滝沢市立一本木小学校が行っている防災教育の一環として「岩手山の火山を学ぼう」と題して出前講座を行いました。一本木小学校は平成14年の砂防堰堤探検隊以降、ほぼ毎年火山局での講座にお越しいただいております。

まず座学では、岩手山は近年噴火の可能性が高まっていることや、噴火した場合に発生した土砂災害（山崩れ、土石流）を動画で体感し、国土交通省が実施している災害の被害を軽減するための砂防事業（砂防堰堤など）について紹介した後、クイズにも楽しく挑戦しました。

座学終了後、館内見学に移り、土石流模型実験を通して砂防堰堤の必要性を学んだり、アンケートに答えて、「イーハトーブ火山局」でしか入手できない「小水無沢第1砂防堰堤のSABOカード」をゲットしていました。児童の皆さんからは「岩手山の最後の噴火はいつか」「火山灰が30cm降り積もったらどうなるか」「西岩手と東岩手はどちらの噴火のほうが被害が大きいか」等沢山の質問もいただき、熱心に勉強していました。ありがとうございました。

実施状況



講義実施の様子



クイズで楽しく学んでいる様子



土石流模型で砂防堰堤の役割を体感